

**一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会**  
**平成 22 年度第 2 回（通算第 2 回）理事会 議事録**

1. 開催日時：2011（平成 23）年 4 月 10 日（日） 11：15～12：10  
14：57～15：12

2. 場 所：横浜市総合リハビリテーションセンター 4階会議室

3. 理事総数 13名

出席理事数 13名

会長（代表理事） 田中理

理事 松尾清美、飯島浩、大鍋壽一、川村慶、元田英一、小林博光、  
井村保、相良二郎、鈴木聖貴、巴雅人、藪澤孝、古井透

監事 井上剛伸、繁成剛

オブザーバ （任意団体新理事）岩崎光男、金井謙介、高原光恵

事務局 沖川悦三、深野栄子

4. 審議事項および資料

第 1 号議案 各業務執行理事の専権事項の報告

（ 1 ）理事の業務分掌と専権事項について（申し合わせ） [資料 - 1]

（ 2 ）福祉機器コンテスト 2011 事業計画・予算 [資料 - 2]

（ 3 ）協会誌編集委員 [資料 - 3]

（ 4 ）第 2 6 回リハ工学カンファレンス開催の覚書 [資料 - 4]

第 2 号議案 各業務執行理事からの業務執行状況の報告 [資料]

第 3 号議案 役員選出規定の承認 [資料]

第 4 号議案 福祉機器コンテスト 2011 選考委員の承認 [資料]

第 5 号議案 第 27 回リハ工学カンファレンス実行委員長の承認 [資料]

第 6 号議案 知的財産所有権等の新規性喪失の  
適用除外についての申請手続き実施の承認 [資料]

第 7 号議案 2011 年度の事業計画・予算編成の方針の確認 [資料]

第 8 号議案 公益認定申請の是非に関する方向性の確認 [資料]

（追加議案）

第 9 号議案 東日本大震災への対応について [口頭説明]

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

（ 1 ）定款第 3 9 条に基づき、議長となる代表理事の田中理が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。

（ 2 ）議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席者の大鍋壽一と川村慶の 2 名を選出した。

第 1 号議案 各業務執行理事の専権事項の報告

議長の求めに応じて各理事より個別に説明をなし、その承認（追認）を求めた。

（ 1 ）理事の業務分掌と専権事項について（申し合わせ）

会則担当の井村理事より、前回理事会で決議した理事の業務分掌に対応した、専権事項の例示と、専権行使に関する基準について（2010年12月28日、MLに修正提示・発効）の再確認があり、満場一致にて承認された。

（2）福祉機器コンテスト2011事業計画・予算

福祉機器コンテスト担当の元田理事より、前回理事会で任意団体日本リハビリテーション工学協会からの事業移管を決議した、福祉機器コンテスト2011の事業遂行にあたり、事業計画ならびに予算について（2011年3月16日、MLに提示）の再確認があった。なお、予算案に関しては、金額では変更がないものの、本理事会の前に実施された福祉機器コンテスト2010の監査における監事からの指摘に基づき、一部予算科目の変更を行ったものに差し替えた上で、満場一致にて承認された。

（3）協会誌編集委員会

協会誌担当の小林理事より、任意団体日本リハビリテーション工学協会との共同発行部物ある「リハビリテーション・エンジニアリング」誌の編集委員の改選があり、任意団体リハビリテーション工学協会の理事会で承認を受けたが、この編集委員を本法人としても編集委員として委嘱することについて（2011年4月3日、MLに提示）の再確認があり、満場一致にて承認された。

< 編集委員名 >

岩崎満男（国際医療福祉大学）編集委員長	任期続行（次期理事）
鴨治慎吾（東京頸髄損傷者連絡会）	任期続行
慶徳民夫（山形県立保健医療大学）	任期続行
中村詩子（北九州市立総合療育センター）	任期続行
成瀬 進（神戸国際大学）	任期続行
太田博巳（石川県立いしかわ特別支援学校）	新規
岡田裕生（パシフィックサプライ株式会社）	新規
笹川友彦（熊本総合医療リハビリテーション学院）	新規
前野 豊（横浜市立脳血管医療センター）	新規

（4）第26回リハビリ工学カンファレンス開催の覚書

カンファレンス担当の巴理事より、第26回リハビリ工学カンファレンス開催にあたり、第26回リハビリ工学カンファレンス実行委員会実行委員長の古井透氏との間で、覚書を3月1日に交わしたことの再確認あり、満場一致にて承認された。

第2号議案 各業務執行理事からの業務執行状況の報告

議長の求めに応じて各理事より、各業務執行理事の業務執行状況を資料（事前提示）の通り報告がされた。なお、未提出者は、当該期間において報告すべき事項無しということであったが、今後は、「報告事項無し」の報告をするように、会長より指示された。

第3号議案 役員選出規定の承認

規則担当の井村理事が役員選出規程(案)について説明をなし、本法人と任意団体の日本リハビリテーション工学協会が並存する間の選挙実施に関する規定として、満場一致で承認し、本日を制定日とした。

#### 第4号議案 福祉機器コンテスト 2011 選考委員の承認

福祉機器コンテスト担当の元田理事が、福祉機器コンテスト 2011 選考委員の候補者および推薦理由について説明をなし、満場一致で承認した。

< 選考委員名 >

白鳥 智子（山梨県立あけぼの医療福祉センター療法科）  
二瓶 美里（東京大学 大学院工学系研究科機械工学専攻）  
青木 久（元、愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所）  
原 和子（愛知医療学院短期大学リハビリテーション学科）  
高橋 哲郎（石川県リハビリテーションセンター）

#### 第5号議案 第27回リハ工学カンファレンス実行委員長の承認

カンファレンス担当の巴理事より、2012年に実施する第27回リハ工学カンファレンスの実行委員会の代表職としての委員長の推薦があり、満場一致で承認した。

また、予め実行委員長より推薦のあった大会長、実行委員および事務局が報告された。

< 実行委員等名 >

大会長：芝 啓一郎（総合せき損センター 院長）  
実行委員長：寺師良輝（総合せき損センター 医用工学研究部）  
実行委員：藤家馨、小林博光、江原喜人、片本隆二  
（以上、総合せき損センター 医用工学研究部）  
櫻木美穂子（福祉用具プラザ北九州）  
辻奈美（福岡市介護実習普及センター）  
中村詩子（北九州市立総合療育センター）  
松野浩二（福岡市立心身障がい福祉センター）  
門奈宗嗣（パシフィックサプライ）  
事務局：総合せき損センター医用工学研究部

#### 第6号議案 知的財産所有権等の新規性喪失の

適用除外についての申請手続き実施の承認

協会誌担当の小林理事より、協会誌およびカンファレンス発表者の知的財産所有権等のために、知的財産所有権等の新規性喪失の適用除外についての申請手続き実施を行うことについて説明をなし、満場一致で承認された。なお、具体的な手続きは、小林理事に一任することとした。

#### 第7号議案 2011年度の事業計画・予算編成の方針の確認

財務担当の飯島理事より、本法人と任意団体が並存しているため、任意団体から移管を受ける部分の確認が必要であるが、対外事業を法人にて、会員サービス事業を任意団体にて担当することの基本方針の説明がされた。その上で、法人と任意団体の連結予算（事業計画）が、従来の任意団体の予算（事業計画）に相当するものとなるために、任意団体と調整の上、改めて次回理事会に提案する方針が確認され、継続審議とした。

#### 第8号議案 公益認定申請の是非に関する方向性の確認

規則担当の井村理事より説明がされ、今後のスケジュールとしては、2年程度かけて公益認定受けることを目標とする方針を確認した。ただし、本法人理事会としては、公益認定を目指すべく体制整備等を行うためには、事務局維持経費等の増加に伴う会費値

上げも検討する必要がある、広く会員（任意団体の会員を含む）より意見募集を行った上で、決定することが好ましく、任意団体に諮り、任意団体の総会の意向を尊重して決定したいという方向を確認して、任意団体からの報告を待つために、継続審議とした。

予定の議案は終了したが、任意団体との調整が必要な事項も想定されることから、議長は、理事会の一時休会を宣言し、任意団体の理事会後に再開することとした。

（休憩）

任意団体の理事会での審議事項終了後、議長は理事会の再開を宣言し、1件の議案が追加提案された。

#### 第9号議案 東日本大震災への対応について

今回の震災の被災地において、杖の寄贈の要望があることが、本協会（任意団体）車いすSIGに寄せられるなど、対外的な対応を求められている案件が、任意団体理事会より法人理事会へ送付された。具体的対応としては、被災地へ物資を送る際に、その物資の預り証の発行を含めた取次ぎ・取りまとめである。

法人理事会としては、対外的な事業になることから、法人管理で行うこととし、今後の対応窓口となる専門委員会として、分科会・専門委員会担当川村理事（任意団体では企画担当理事）の下に、「東日本大震災復興支援に関する専門委員会」を設置し、沖川事務局長（任意団体では事務局統括理事）を設置することを、満場一致で承認した。なお、今後の具体的対応（被災地等からの問い合わせ）は沖川委員長が窓口になるとともに、関係機関への委員会設置の周知は川村理事が行うこととした。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の平成22年度第2回（通算第2回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（15時12分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2011年4月10日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成22年度第2回理事会

議 長 田中 理

議事録署名人 大鍋 壽一

議事録署名人 川村 慶

（注：本議事録（写）は、議長および議事録署名人が押印した議事録の元ファイルである）